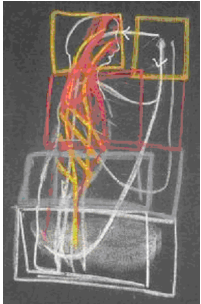


人智学(アントロポゾフィー)創始したルドルフ・シュタイナー(哲学者)の思想を元にした医学は「アントロポゾフィー医学」と呼ばれ、ホリスティックな視点をもつ医学



体系としてドイツを中心に普及し、約90年の歴史があります。日本アントロポゾフィー医師会の医師の方々にご協力いただき、昨年に引き続き基本の連続講座を開催いたします。おさらいと続編ですので、初めての方にもご参加いただけます。

<講座内容の紹介>

第1回(10/5) アントロポゾフィー医学総論

3分節、4つの構成要素+耳鼻科疾患
(なかがわ耳鼻咽喉科 福元晃)

第2回(12/7) ゲーテ・シュタイナー的植物観察法

(すみれが丘そよかぜクリニック 芹澤敬子)

第3回(2/1) アントロポゾフィー医学各論

アトピー性皮膚炎を中心に皮膚科疾患
アントロポゾフィー医学の病院での実践 芸術療法
(すみれが丘ひだまりクリニック 山本百合子)

第4回(4/4) アントロポゾフィー医学各論・総論

アントロポゾフィー医学の栄養学(宇宙的栄養と地球的栄養)、動く滋養としての健康オイリュトミー体験
(ほりクリニック 堀雅明)

◎会場:ホリスティックヘルス情報室

(地下鉄「溜池山王駅」9番出口徒歩2分)

◎申し込み方法

「アントロポゾフィー医学」講座申込みとして、下記の項目をメールまたはファックスでお送りいただき、お振込み下さい。振込みをもって正式受付となります。

① 講座名②日程③氏名(ふりがな)④住所⑤連絡先(当日つながる電話番号)⑥メールアドレス

■受講料:4回 26,400円(税込)

■講師: アントロポゾフィー医学を実践・研究している医師

■対象: アントロポゾフィー医学を学びたい方。

■日程: 第1回 2019年10月5日 18:45~21:45

第2回 2019年12月7日 18:45~21:45

第3回 2020年2月1日 18:45~21:45

第4回 2020年4月4日 18:45~21:45

<講座のポイント>

人間の身体を、頭部(思考)・胸部(感情)・腹部(意志)の3つに分ける「三分節」の考え方は、ホリスティックな身体観を身につけるのに役立つだけでなく、あらゆるジャンルにおいても応用できるものです。

肉体(土)・エーテル体(水)・アストラル体(風)・自我(火)の4つの構成要素で身体を捉える観方は分析的なアプローチでは理解困難な疾患の解釈を容易にすることができます。また、ゲーテが見出し、シュタイナーが体系づけた植物観察法は、誰もが可能なしっかりした訓練の基に、植物の生育環境や形、色、香り等に真摯に向き合い、読み解いていく手法です。植物療法、アロマセラピー、メディカル・ハーブ等を学ばれている方々にとっても、この手法はそれぞれの専門分野において認識を深めていくための道具になり得ます。また、ホメオパシーの創始者ハーネマンが残した体系をシュタイナーは尊重し、かつ作用の次元についても言及しています。そして、アントロポゾフィー医療の現場で行われている芸術療法、オイリュトミー療法についてもご紹介いたします。

■ 主催・お問い合わせ: (有)ホリスティックヘルス情報室

Eメール: hic@a7.rimnet.ne.jp

FAX: 03-5572-8219

URL: <http://holistichealthinfo.web.fc2.com/index.html>

◎ お振込先

三菱UFJ銀行虎ノ門中央支店 普通5832950 (有)ホリスティックヘルス情報室

